

## 目標達成計画

作成日：平成 26年 3月 7日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |          |                                                      |                                    |                                                   |                |
|----------|----------|------------------------------------------------------|------------------------------------|---------------------------------------------------|----------------|
| 優先<br>順位 | 項目<br>番号 | 現状における問題点、課題                                         | 目標                                 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                | 目標達成に<br>要する期間 |
| 1        | 7        | 言葉かけ一つで虐待に結びつく事を学んではいるが実践できない時もあり、理解を深める必要がある。       | 身体拘束や虐待を正しく理解し、より良い支援を提供していく。      | 定期的に身体拘束・虐待の勉強会を実施し虐待に対しても話し合いを持つ。                | 12ヶ月           |
| 2        | 13       | ご利用者の薬の把握や身体的な様子観察・状態などの把握が職員全体では出来ていない為、ケアに差が出てしまう。 | 職員全体でご利用者の状態を把握しケアの統一化と知識の向上を図る。   | 薬の把握とご利用者の身体状況把握が出来るように情報を共有する事と必要により勉強会の開催を実施する。 | 12ヶ月           |
| 3        | 13       | 認知症の理解が出来ていても実践に結びつかず、ご利用者に対しての対応に迷いが出てしまう。          | 認知症の勉強会を多く持ち認知症の方の症状に合ったケアを提供していく。 | 認知症の勉強会の開催と認知症の方に対しての個々の取り組みについて話し合う。             | 12ヶ月           |
| 4        |          |                                                      |                                    |                                                   | ヶ月             |
| 5        |          |                                                      |                                    |                                                   | ヶ月             |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。